

福 生 市 の 概 要

1 福生市の概要

(1) 沿革

明治22年市町村制施行により福生村、熊川村組合役場を設け、明治26年に神奈川県より東京府に編入されている。この頃民営の青梅鉄道（現在のJR青梅線）が敷設され、明治27年に福生駅が開業している。

昭和初期まではこの辺は養蚕を主とした農村であったが、昭和14年から15年にかけて、市の東北部に旧日本陸軍の「多摩飛行場」が設置され、さらに航空審査部と整備学校等が設置されて人口も増えはじめ一躍軍都として発展してきた。昭和15年11月には福生、熊川の両村が合併して町制を施行して福生町が誕生した。（昭和15年の国勢調査で人口7,921人）

なお、昭和20年の終戦と同時に軍部の施設は米軍に接收され、その後数度の拡張を経て現在の市域の約1/3を占める横田基地となっている。

戦後は米軍の進駐に伴い、基地労働者やサービス業関係者等が激増し、一般住宅とともに米軍人用の住宅ハウスが約2,000戸も建てられるなど、基地経済が発達し基地の町として、特異な発展をすることとなり、商店街も急速に発展整備されてきた。

「ふっさ七夕まつり」の第1回目が昭和26年に行われている。商業の繁栄と観光を結びつけた催し物として地元商店街のひとたちが取り組んだものであり、以来、市をあげての一大観光行事となっている。（8月7日前後4日間開催）

昭和37年頃から基地の町からの脱皮が真剣に考えられ、同年に首都圏整備法による市街地開発区域の指定を受け都市計画を進めてきた。

そして行政サービスの一層の充実を図るため、昭和45年7月、地方自治法の特例措置により、人口38,749人で市制を施行し、東京都下18番目の市となった。また、昭和41年からは地元町会のひとたちが中心となって蛍の保護運動から始まった「ホタルまつり」が始まっている（6月中旬土曜日開催）。昭和45年に「世界平和都市宣言」、昭和48年に「健康都市宣言」が宣告され、昭和55年に「市民憲章」及び「市の歌」を制定。昭和58年に「交通安全都市宣言」が宣告された。また、昭和59年には多摩川堤防沿いに植えられた桜約500本が成長し、全長約2.5Kmの間で「ふっさ桜まつり」が始まっており、春のひとときを楽しむ多くの花見客で賑わっている（4月初旬開催）。

なお、市の木として「モクセイ」・市の花として「つつじ」（昭和46年12月14日制定）、市の鳥として「シジュウカラ」（平成2年7月1日制定）も制定している。

こうしたことを背景に福生市では、まちづくりの基本方向を示すものとして、昭和52年に策定した第1期総合計画をもとに、シビルミニマム（市民生活に必要な最小限の環境条件）の視点から主として都市基盤及び生活基盤整備を中心とするまちづくりを進めてきた。

また、平成2年に策定した第2期総合計画では、「市民からの発想」、「まちの個性からの発想」を基本理念に、「輝く街 福生」を目指し、「快適環境都市」、「風格ある都市」、「人生80年時代に対応する都市」、「産業に活力ある都市」を目標と定め、更に、平成12年に策定した第3期総合計画では、「やさげ いきいき 輝く街 福生」を市の将来像と定め、数々の施策を進めてきた。

現在は、平成22年3月に策定した第4期総合計画において、目指すべきまちの都市像を「このまちが好き 夢かなうまち 福生」と定め、福生の自然、歴史、文化、産業など、かけがえのない財産を資源として活用し、福生らしい個性と魅力、にぎわいと活気を生み出し、すべての市民が心から「住んでよかった」、「住み続けたい」と思えるようなまちの実現に向け取り組んでいるところである。

（２）地勢及び位置

都心からは約 50 Km 西方にあって、多摩川の東側に南北に横たわる市で、近隣は、立川市、昭島市、八王子市、あきる野市、羽村市、瑞穂町、武蔵村山市に境を接している。また、当市は、秩父山地の笠取山に水源を発した 1 級河川の多摩川のおよそ 50 Km 下流の左岸（東側）にあたり、武蔵野台地の西端に位置する面積 10.16 Km² の市である。

市の約 1／3 を占める横田基地は、市の東北部に位置している。地形は、横田基地から西の多摩川に向って三段丘をなす河岸段丘となっている。

J R 福生駅の周辺が中心市街地として発展をし、また、かつて江戸市中の飲料水となった玉川上水が両側に緑を抱えながら市の北西側から東側に向かい福生市を縦断するように緩やかに流れている。

道路等の主な交通網は、基地沿いに国道 16 号線（東京環状線）がはしり、これに主要地方道立川・青梅線（奥多摩街道）、主要地方道杉並・五日市線（五日市街道）及び一般都道と市道が交差している。鉄道は、小さな市域のわりには 5 つの駅があり、市の中央部を北西から南東にかけ J R 青梅線（福生駅、牛浜駅、拝島駅）が通り、それに拝島駅には J R 五日市線（熊川駅）、J R 八高線（東福生駅）と西武鉄道（西武拝島線）が乗り入れており、交通の便の良いところとなっている。なお、拝島駅は隣接の昭島市との境界に位置している。

面 積	1 0 . 1 6 K m ² （うち横田基地約 3 . 3 1 7 K m ² ）	
東 西	3 . 6 K m	
南 北	4 . 5 K m	
緯 度	北緯 3 5 度 4 4 分 0 7 秒	（福生市役所）
経 度	東経 1 3 9 度 1 9 分 4 8 秒	
標 高	最高 1 4 3 m（武蔵野台一丁目付近）	
	最低 1 0 4 m（福生第五小学校付近）	

※面積については、平成 26 年 10 月 1 日から 10.16 Km²
（旧面積 10.24 Km²。国土地理院による計測方法の変更による。）

(3) 人口及び世帯数

ア. 人口及び世帯

(平成28年1月1日現在)

日本人登録人口	男	27,923	人
	女	27,665	人
	計	55,588	人
	世帯数	27,317	世帯
外国人登録人口	男	1,522	人
	女	1,503	人
	計	3,025	人
	世帯数(混合世帯含む。)	2,394	世帯
住民基本台帳人口	男	29,445	人
	女	29,168	人
	計	58,613	人
	世帯数	29,711	世帯

人口及び世帯数の状況

(1月1日現在)

年	世帯数 (世帯)	人 (人)		
		男	女	計
昭和61	18,723	26,063	25,954	52,017
62	19,174	26,527	26,416	52,943
63	19,892	27,190	26,999	54,189
64	20,749	28,163	27,728	55,891
平成2	21,534	28,852	28,289	57,141
3	22,164	29,406	28,631	58,037
4	22,843	29,982	28,958	58,940
5	23,281	30,217	29,179	59,396
6	23,736	30,485	29,406	59,891
7	24,095	30,601	29,606	60,207
8	24,451	30,693	29,690	60,383
9	24,812	30,577	29,695	60,272
10	25,147	30,637	29,847	60,484
11	25,367	30,654	29,816	60,470
12	25,566	30,539	29,749	60,288
13	25,895	30,580	29,744	60,324
14	26,359	30,655	29,739	60,394
15	26,519	30,426	29,648	60,074
16	26,549	30,077	29,354	59,431
17	26,877	30,086	29,387	59,473
18	27,175	29,966	29,312	59,278
19	27,327	29,776	29,139	58,915
20	27,542	29,679	28,961	58,640
21	27,691	29,558	28,925	58,483
22	27,765	29,331	28,791	58,122
23	27,681	28,982	28,590	57,572
24	27,596	28,708	28,301	57,009
25	27,191	28,601	28,123	56,724

26	27, 139	28, 332	27, 956	56, 288
27	27, 225	28, 044	27, 797	55, 841
28	27, 317	27, 923	27, 665	55, 588

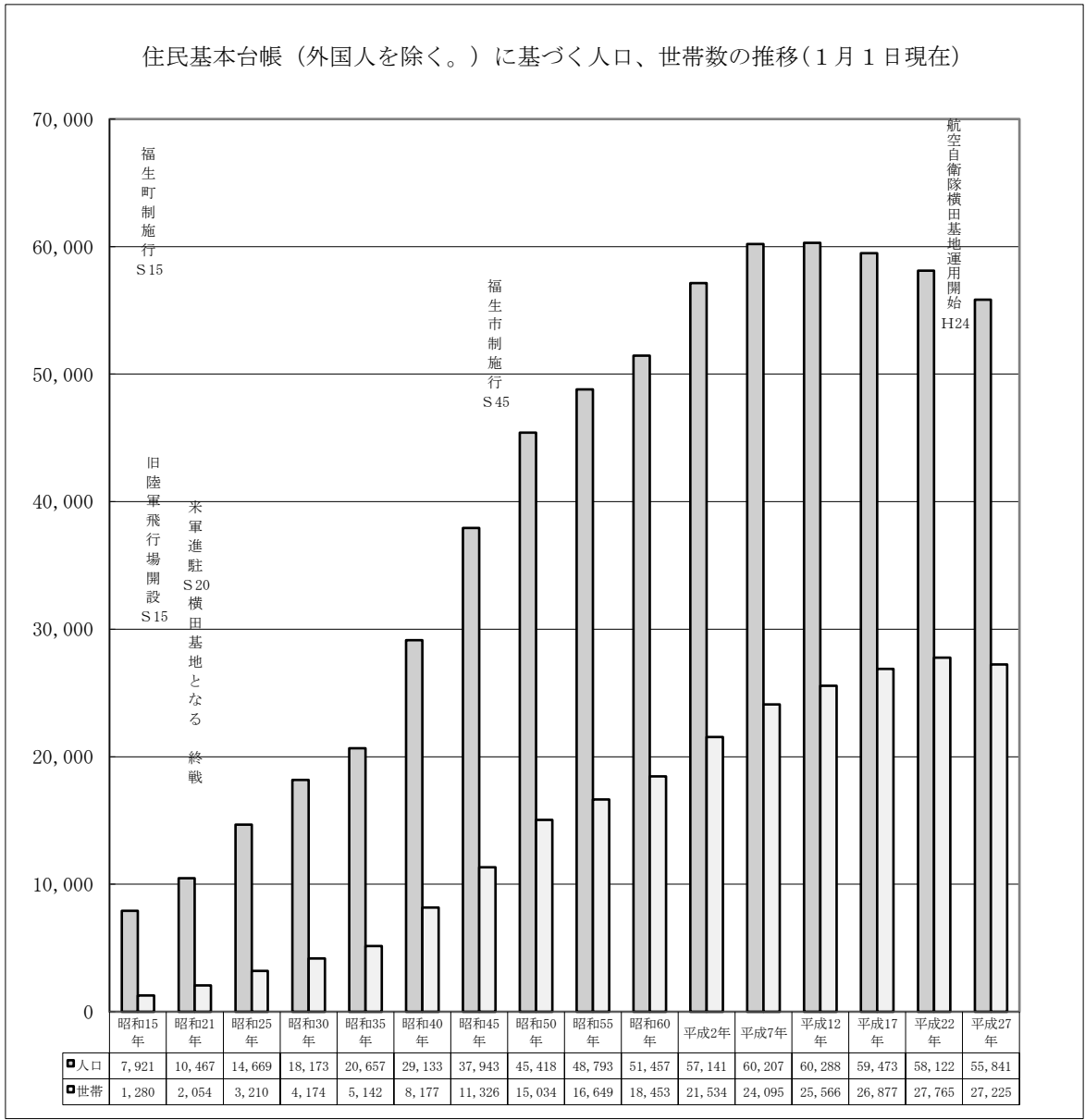
(住民基本台帳人口)

※平成25年度～

住民基本台帳人口の日本人人口

世帯数は日本人世帯数

イ. 人口及び世帯数の推移



※ただし、昭和25年以前は国勢調査による。

(4) 就業人口（産業分類別）の状況

各年 10 月 1 日現在

(資料：国勢調査)

平成 22 年

産業別分類	就業者数 (人)			比率 (%)
	男	女	計	
第 一 次 産 業	9 6	3 2	1 2 8	0. 4 6
第 二 次 産 業	5, 0 8 8	1, 5 0 1	6, 5 8 9	2 3. 7 9
第 三 次 産 業	9, 7 6 2	9, 0 3 3	1 8, 7 9 5	6 7. 8 7
分類不能の産業	1, 2 8 1	9 0 0	2, 1 8 1	7. 8 8
計	1 6, 2 2 7	1 1, 4 6 6	2 7, 6 9 3	1 0 0. 0 0

平成 17 年

産業別分類	就業者数 (人)			比率 (%)
	男	女	計	
第 一 次 産 業	8 7	2 1	1 0 8	0. 3 7
第 二 次 産 業	5, 9 1 8	1, 7 6 8	7, 6 8 6	2 6. 4 2
第 三 次 産 業	1 0, 6 8 7	9, 4 2 1	2 0, 1 0 8	6 9. 1 3
分類不能の産業	6 9 5	4 9 2	1, 1 8 7	4. 0 8
計	1 7, 3 8 7	1 1, 7 0 2	2 9, 0 8 9	1 0 0. 0 0

平成 12 年

産業別分類	就業者数 (人)			比率 (%)
	男	女	計	
第 一 次 産 業	6 5	1 3	7 8	0. 2 5
第 二 次 産 業	7, 1 9 7	2, 2 6 5	9, 4 6 2	3 0. 6 3
第 三 次 産 業	1 1, 2 7 5	9, 1 7 1	2 0, 4 4 6	6 6. 1 8
分類不能の産業	5 2 4	3 8 3	9 0 7	2. 9 4
計	1 9, 0 6 1	1 1, 8 3 2	3 0, 8 9 3	1 0 0. 0 0

平成 7 年

産業別分類	就業者数 (人)			比率 (%)
	男	女	計	
第 一 次 産 業	1 2 0	3 5	1 5 5	0. 4 9
第 二 次 産 業	7, 4 8 1	2, 2 8 8	9, 7 6 9	3 0. 9 0
第 三 次 産 業	1 2, 0 2 9	8, 9 7 3	2 1, 0 0 2	6 6. 4 3
分類不能の産業	3 9 7	2 9 4	6 9 1	2. 1 8
計	2 0, 0 2 7	1 1, 5 9 0	3 1, 6 1 7	1 0 0. 0 0

平成 2 年

産業別分類	就業者数 (人)			比率 (%)
	男	女	計	
第 一 次 産 業	9 5	1 6	1 1 1	0. 3 7
第 二 次 産 業	7, 7 1 2	2, 5 9 6	1 0, 3 0 8	3 4. 4 2
第 三 次 産 業	1 1, 0 0 1	8, 0 2 9	1 9, 0 3 0	6 3. 5 5
分類不能の産業	2 7 6	2 2 0	4 9 6	1. 6 6
計	1 9, 0 8 4	1 0, 8 6 1	2 9, 9 4 5	1 0 0. 0 0

(5) 市の予算の推移（当初予算）

年度別	一般会計	区画整理会計	国保会計	下水道会計	老人保健会計
平成元	14,246,992	100	2,108,016	2,528,611	1,394,397
2	15,252,100	—	2,216,877	2,229,313	1,528,593
3	16,714,268	—	2,277,386	2,308,399	1,687,735
4	19,978,300	—	2,386,034	2,421,376	1,924,324
5	19,933,707	—	2,523,281	2,497,798	2,076,968
6	23,518,964	—	2,488,069	2,325,297	2,210,371
7	22,784,361	—	3,034,000	2,562,363	2,433,620
8	22,223,236	—	2,991,465	2,500,294	2,681,662
9	21,935,060	—	3,244,357	2,761,104	3,006,571
10	21,336,737	—	3,346,469	3,108,491	3,240,776
11	21,178,614	—	3,501,057	3,007,564	3,175,042
12	21,773,259	—	3,518,398	3,421,747	3,140,066
13	21,058,526	—	3,857,959	2,919,565	3,696,668
14	21,729,180	—	3,804,925	2,633,214	3,719,024
15	21,880,212	—	4,280,107	2,608,387	3,567,322
16	22,103,368 (20,721,468)	—	4,613,260	2,025,917	3,369,669
17	20,518,000	—	4,781,814	2,116,447	3,273,753
18	21,796,000	—	4,882,804	1,929,262	3,198,669
19	22,583,000	—	5,593,585	1,872,630	3,018,826
20	20,193,000	—	6,117,304	1,610,224	406,260
21	20,354,000	—	6,236,312	1,562,502	7,154
22	21,335,000	—	6,074,145	1,619,870	5,597
23	21,644,000	—	6,401,945	1,443,967	—
24	22,077,000	—	6,688,387	1,850,555	—
25	21,730,000	—	6,947,057	1,632,336	—
26	22,090,000	—	6,956,725	1,712,143	—
27	22,750,000	—	8,041,999	1,720,648	—

※()内は、平成7年度及び8年度住民税等減税補てん債借換分1,381,900千円を除いたもの。

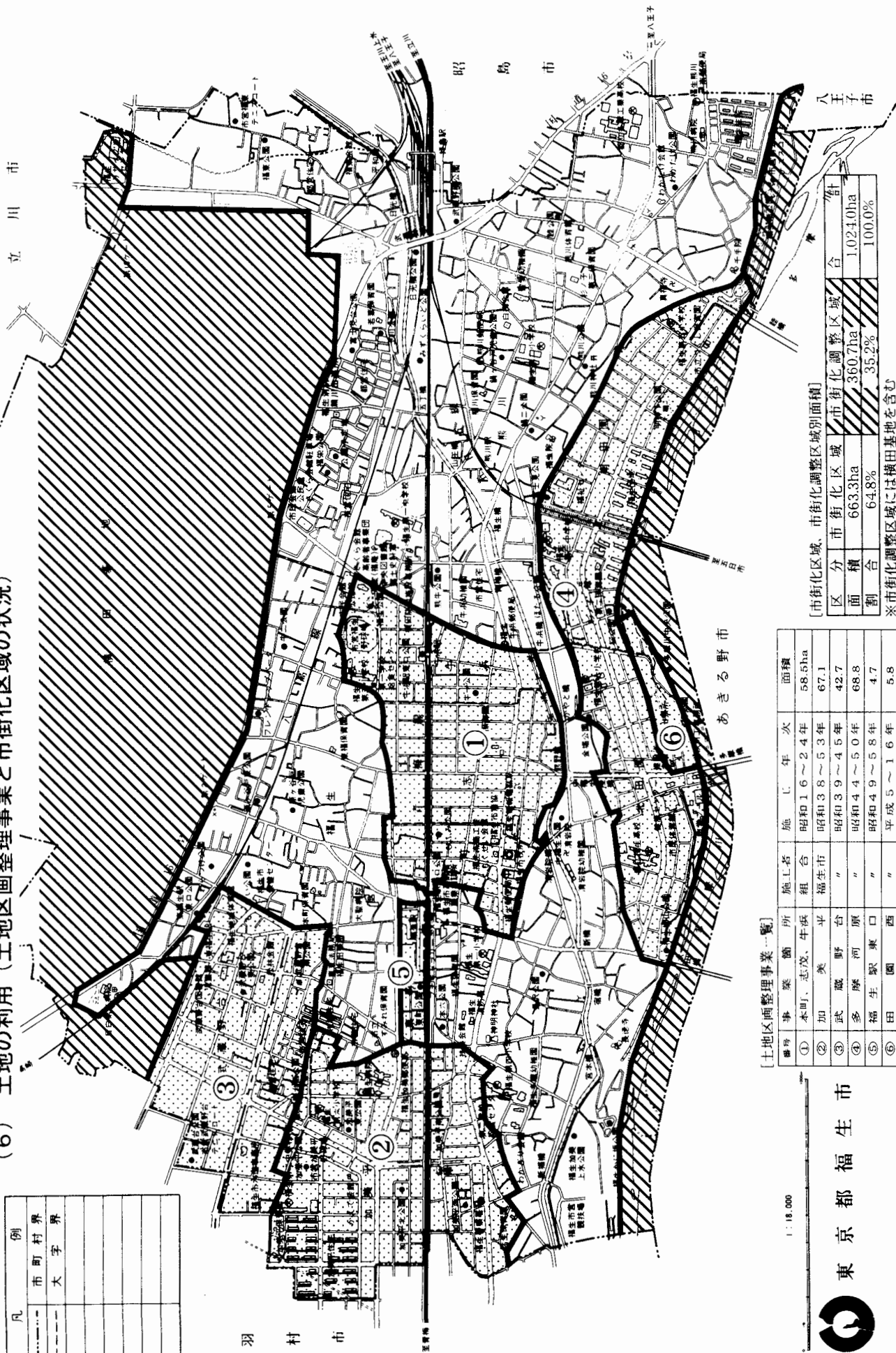
(単位：千円)

介護保険会計	後期高齢者医療会計	小 計	受託水道会計	合 計
—	—	20,278,116	745,383	21,023,499
—	—	21,226,883	834,200	22,061,083
—	—	22,987,788	981,600	23,969,388
—	—	26,710,034	784,600	27,494,634
—	—	27,031,754	889,500	27,921,254
—	—	30,542,701	777,100	31,319,801
—	—	30,814,344	785,601	31,599,945
—	—	30,396,657	957,789	31,354,446
—	—	30,947,092	925,956	31,873,048
—	—	31,032,473	916,989	31,949,462
—	—	30,862,277	883,970	31,746,247
1,452,793	—	33,306,263	734,509	34,040,772
1,564,202	—	33,096,920	719,787	33,816,707
1,668,431	—	33,554,774	698,531	34,253,305
1,874,071	—	34,210,099	1,000,501	35,210,600
2,007,082	—	34,119,296 (32,737,396)	689,680	34,808,976 (33,427,076)
2,281,378	—	32,971,392	467,291	33,438,683
2,584,335	—	34,391,070	419,862	34,810,932
2,643,772	—	35,711,813	466,836	36,178,649
2,761,654	746,895	31,835,337	375,345	32,210,682
2,877,132	771,132	31,808,232	420,230	32,228,462
2,978,017	831,746	32,844,375	—	32,844,375
3,140,913	857,712	33,488,537	—	33,488,537
3,250,416	945,079	34,811,437	—	34,811,437
3,419,962	965,956	34,695,311	—	34,695,311
3,817,145	1,034,815	35,610,828	—	35,610,828
3,887,081	1,061,181	37,460,909	—	37,460,909



凡	例
---	市町村界
---	大字界

(6) 土地の利用（土地区画整理事業と市街化区域の状況）



〔市街化区域、市街化調整区域別面積〕

区分	市街化区域	市街化調整区域	合計
面積	663.3ha	360.7ha	1,024.0ha
割合	64.8%	35.2%	100.0%

※市街化調整区域には横田基地を含む

〔土地区画整理事業一覽〕

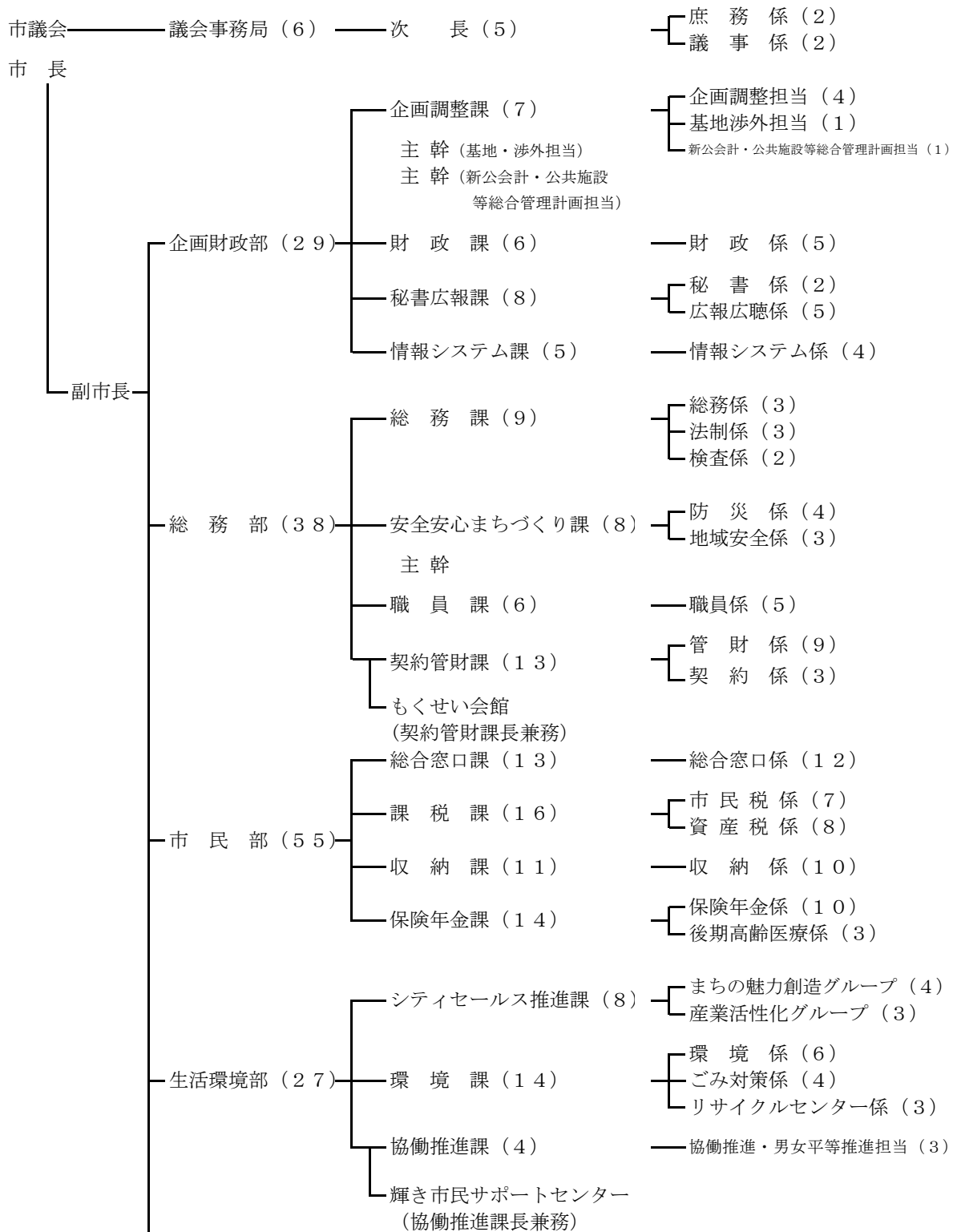
番号	事業箇所	施工者	施工年次	面積
①	本町、志茂、牛浜	組合	昭和16～24年	58.5ha
②	加武、美野台	福生市	昭和38～53年	67.1
③	武蔵野河原	"	昭和39～45年	42.7
④	多摩川東口	"	昭和44～50年	68.8
⑤	福生、東口	"	昭和49～58年	4.7
⑥	田園西	"	平成5～16年	5.8

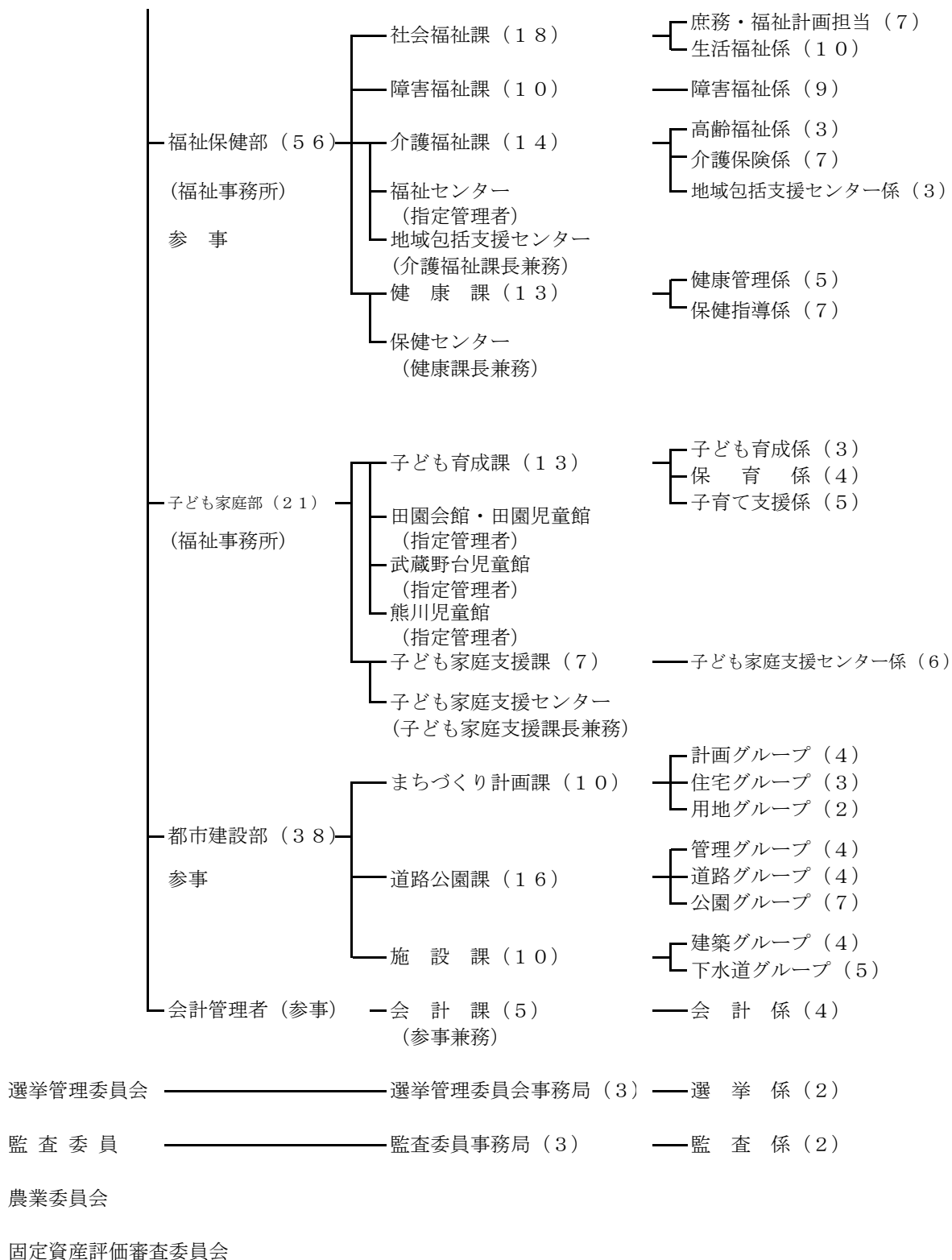
東京都福生市



(7)組織機構図

平成27年4月1日現在





教育委員会

